



かくせんもんぶかい 各専門部会の



ちょうさしんぎじょうきょう ほうこく 調査審議状況の報告

1

ひと こうつうあんぜんぶかい 人にやさしい交通安全部会

ちょうさしんぎじょうきょう 調査審議状況

- だい かいくみんかいぎ ちょうさしんぎないよう
1 第4回区民会議での調査審議内容
- ぶかい かいさいじょうきょう
2 部会の開催状況
- ちょうさとう ぶ とりくみ けんとう
3 調査等を踏まえた取組の検討
- じっせんてきとりくみ けんとう じっし
4 実践的取組の検討・実施
- ていげんないよう けんとう
5 提言内容の検討
- ひと こうつうあんぜんぶかい ていげん
6 「人にやさしい交通安全部会」からの提言

2

1 第4回区民会議での調査審議内容

◎第4回区民会議では、人にやさしい交通安全部会の「各種調査の実施結果」と「調査等を踏まえた取組の検討」について、調査審議をしました。

《部会での今後の取組》

(1) 調査等を踏まえた取組の検討

(2) 実践的取組の検討・実施

(3) 提言等の作成に係る検討

3

2 部会の開催状況

(1) 第10回《平成29年9月14日(木)、委員8名出席》
・調査等を踏まえた取組の検討状況の確認
・実践的取組(ハード対策)の内容検討
・調査等を踏まえた取組(情報発信の手法)の検討
・実践的取組(幸区民祭での情報発信等)の実施内容の検討

(2) 第11回《平成29年10月26日(木)、委員9名出席》
・実践的取組(幸区民祭での情報発信等)の検証
・提言内容の方向性の検討

(3) 第12回《平成29年11月27日(月)、委員8名出席》
・提言内容の素案の検討
・フォーラム実施内容の検討① など

(4) 第13回《平成29年12月21日(木)、委員8名出席》
・提言内容の取りまとめ
・フォーラム実施内容の検討②

(4) 第14回《平成30年1月29日(月)、委員6名出席》
・提言内容の確認 など

4

3 調査等を踏まえた取組の検討

(1) ヒヤリ・ハット箇所の検証結果を踏まえた効果的な取組の検討【ハード対策】

●印象的な路面標示

危険箇所などに「あ！」など印象的な路面標示を施し、注意喚起する



●注意喚起を促す路面標示

出会い頭衝突防止のために注意喚起を促す赤色カラー舗装を施す



●自転車通行位置の明示

自転車の逆走・乱横断等が多い箇所について、矢羽根標示を施し、自転車通行位置を明示する



など

5

3 調査等を踏まえた取組の検討

(2) ヒヤリ・ハット箇所の検証結果を踏まえた効果的な取組の検討【ソフト対策】

●「ヒヤリ・ハットマップ作り」を普及させるための情報発信

視覚的に確認できるマップ作り活動を通して、危険箇所の認識を促し、交通安全意識を向上させる



●「交通安全に関する大人のモラル向上」をさせるための情報発信

子ども目線で、大人の交通ルール・マナーに関する行動からヒヤリ・ハットを感じた体験談を大人へ発信する

など

6

3 調査等を踏まえた取組の検討

(3) 交通ルール・マナー・クイズの検証結果を踏まえた効果的な取組の検討

●「クイズの認知度を踏まえた小中学生・高齢者の行動特性」を周知させるための情報発信

クイズで得られた調査結果（認知度が低い項目）を基に、交通ルール・マナーに関する啓発リーフレットを作成して、人が多く集まるイベント等で啓発を行う など



○表面・裏面



○中面

4 実践的取組の検討・実施

幸区民祭での情報発信等

■啓発リーフレットの配布

子ども・高齢者の行動特性を周知

■子どもの体験談ヒアリング調査

子ども目線で、大人の交通上の行動により

ヒヤリ・ハットを感じた体験談をヒアリング形式で調査

① 調査結果(回答者数)

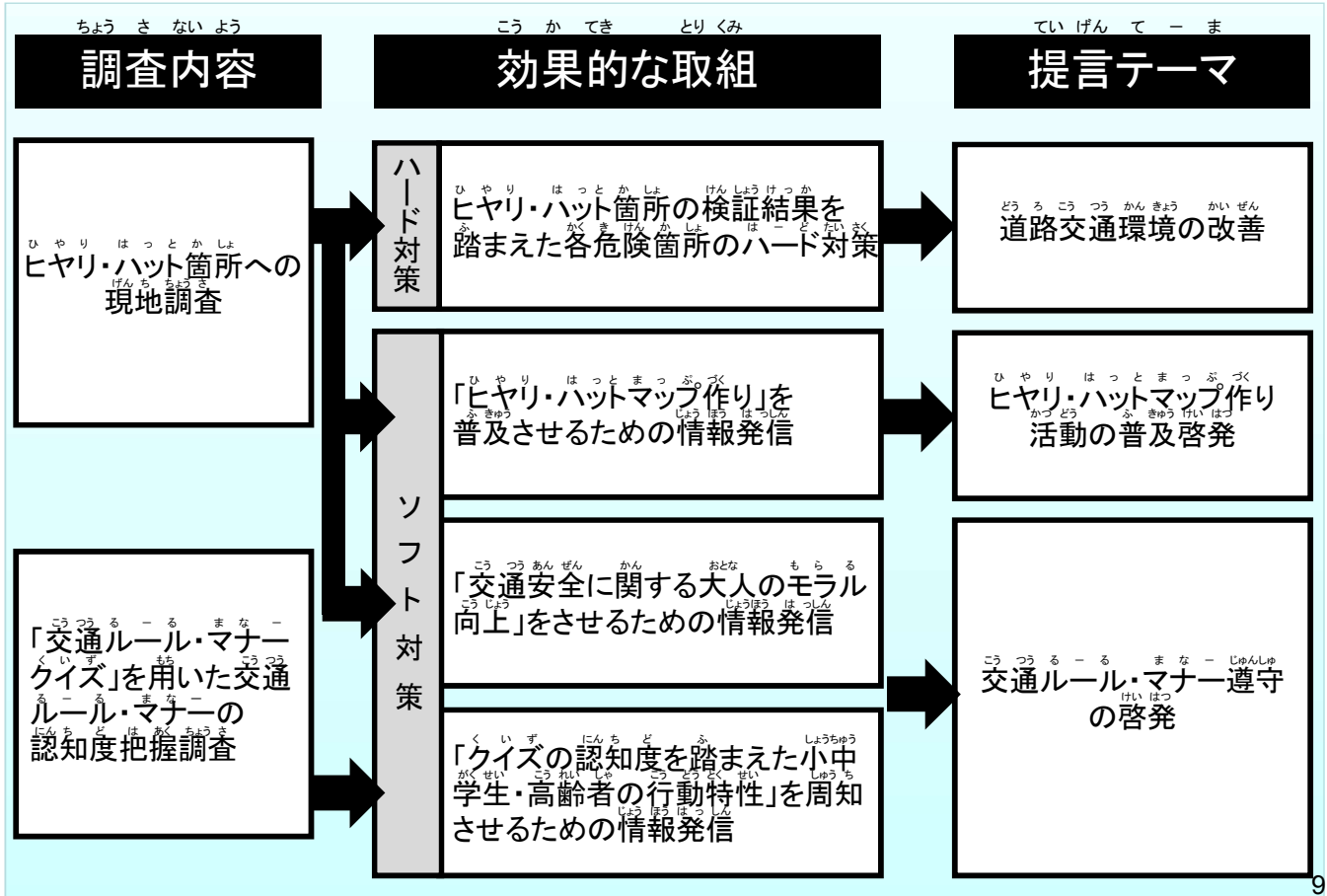
- ・回答者数67名(小学生～中・高校生)
- ・ヒアリング件数154件

② 「大人の交通ルール・マナーに関する子どもの体験談」一例

- ・横断歩道で10人くらいの人が待っていたが、一人が信号無視して渡っていた
- ・歩きスマホや自転車に乗りながらスマホをしていて危ないと思った
- ・横断歩道がない所を渡ってバスに乗ってきた
- ・横断歩道で渡ろうとしても車が止まってくれなかった



5 提言内容の検討 【提言内容の構成イメージ・テーマ】



6 「人にやさしい交通安全部会」からの提言(案)

テーマ①：道路交通環境の改善

提言1：交通事故が発生しそうな危険箇所(ヒヤリ・ハット箇所)について、注意喚起を促す印象的な路面標示を施すなど、道路交通環境の改善を提案します。



印象的な路面標示「あ！」

趣旨

- 幸区は「自転車交通事故多発地域」に指定されるなど、交通事故の発生が多い状況
- 「ヒヤリ・ハット箇所への現地調査」においても、交通事故が発生しそうな危険箇所があり、道路交通環境の改善が必要
- 注意喚起を促す工夫を凝らした印象的な路面標示、カラー舗装、自転車通行位置の明示などが交通事故防止につながる

6 「人にやさしい交通安全部会」からの提言(案)

ヒヤリ・ハット箇所への現地調査を踏まえ、改善整備を実施した事例

<p>場所</p>	<p>A: 河原町団地南側交差点(南河原地区)</p>	
<p>現地の状況</p>	<p>・さいわい緑道から自転車が急に車道に飛び出したり、一旦停止せずに 交差点に進入したりする恐れがある状況</p>	
<p>整備前</p>		
<p>整備後</p>	<p>●P: 写真撮影位置</p>	

6 「人にやさしい交通安全部会」からの提言(案)

ヒヤリ・ハット箇所への現地調査を踏まえ、改善整備を実施した事例

<p>場所</p>	<p>B: 南河原公園付近(南河原地区)</p>	
<p>現地の状況</p>	<p>・マンションの植栽により見通しが悪く、脇道からの飛び出し予測が難しい状況</p>	
<p>整備前</p>		
<p>整備後</p>	<p>●P: 写真撮影位置</p>	

ひと こうつうあんぜんぶがかい ていげん あん
 6 「人にやさしい交通安全部会」からの提言(案)

てーま ひやり はっとまっぷづく かつどう ふきゆう けいはつ
テーマ②:ヒヤリ・ハットマップ作り活動の普及啓発

ていげん ち いき しゅたい こうつう きけん か しょ ちょうさ けいぞく てき おこな
提言2: 地域が主体となり交通危険箇所の調査を継続的に行なうことにより、交通安全意識の向上を図ることを提案します。



こうつう きけん か しょ げん ち ちょうさ もと さくせい ひやり はっとまっぷ
 交通危険箇所への現地調査を基に作成したヒヤリ・ハットマップ

しゅし
趣旨
 ・危険箇所を調査し、結果を地域で情報共有することは、交通事故の防止に大いに貢献
 ・「ヒヤリ・ハットマップ作り」の活動は、参加した人やマップを見る人に危険箇所の認識を促す
 ・地域で「ヒヤリ・ハットマップ」を適宜更新し、交通危険箇所を継続的に調査する活動が交通安全意識の向上につながる

ひと こうつうあんぜんぶがかい ていげん あん
 6 「人にやさしい交通安全部会」からの提言(案)

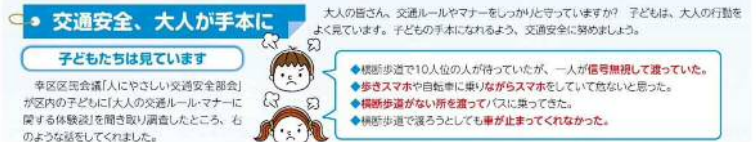
てーま こうつう るーまな じゆんし けいはつ
テーマ③: 交通ルール・マナー遵守の啓発

ていげん こうつう るーまな まも ひと ところ ひび じょうほう はつ しん
提言3: 交通ルール・マナーを守らない人の心に響く情報発信によって意識改善につながる啓発活動のより一層の推進を提案します。



こ ころいしや こうどう とくせい しゅうち けいはつりーふれっと
 子ども・高齢者の行動特性を周知する啓発リーフレット

しゅし
趣旨
 ・「ながらスマホ」により重大事故につながるケースが目立っている
 ・「子どもや高齢者の行動特性を周知して交通事故を防止する啓発活動」、「大人に向けて子どもから指摘するなど、意識改善につながる啓発活動」が必要



しせい さいわいけん がつごう けいさい おとな こうつう るーまな かん こ たいけん だん
 市政だより幸区版12月号に掲載した「大人の交通ルール・マナーに関する子どもの体験談」

みりよくはっしん 魅力発信でつなぐ まちの活性化部会

ちょうさしんぎじょうきょう 調査審議状況

- 1 だい かいくみんかいぎ ちょうさしんぎないよう
第4回区民会議での調査審議内容
- 2 ぶかい かいさいじょうきょう
部会の開催状況
- 3 ちょうさ しんぎけいか
調査・審議経過
- 4 ていげんないよう けんとう
提言内容の検討
- 5 みりよくはっしん ちょうさしんぎないよう かいせいかぶかい ていげん
「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」からの提言

15

だい かいくみんかいぎ ちょうさしんぎないよう 1 第4回区民会議での調査審議内容

だい かいくみんかいぎ ちいきしげん げんちちょうさ はっしん
◎第4回区民会議では「地域資源の現地調査」発信していく
ちいき みりよく ちょうさしんぎ
地域の魅力」について調査審議をしました。

ぶ かい こんご とりくみ 《部会での今後の取組》

くみんさい うと じょうほう はっしん ほうほう
(1) 区民祭における受け取りやすい情報発信方法について

ひありんぐ ちょうさ けっか かくにん
てのヒアリング調査結果の確認

こうか てき じょうほう はっしん ほうほう けんとう
(2) 効果的な情報発信方法についての検討

ていげんないよう けんとう
(3) 提言内容の検討

16

2 部会の開催状況

(1) 第10回《平成29年9月19日（木）、委員8名出席》

- ・ 発信していく地域の魅力についての確認
- ・ 区民祭におけるヒアリング調査についての確認

(2) 第11回《平成29年10月17日（火）、委員9名出席》

- ・ 区民祭におけるヒアリング調査の振り返り
- ・ 魅力の発信方法の検討
- ・ 提言内容の検討（提言の論点）



17

2 部会の開催状況

(3) 第12回《平成29年11月21日（火）、委員8名出席》

- ・ 魅力の発信方法の検討
- ・ 提言内容の検討（提言素案）
- ・ フォーラム実施内容の検討

(4) 第13回《平成29年12月19日（火）、委員9名出席》

- ・ 提言内容のとりまとめ（提言案）
- ・ フォーラム実施内容の検討

(5) 第14回《平成30年1月30日（火）、委員9名出席》

- ・ 提言内容の確認
- ・ 「第5回区民会議」報告内容等の検討

18

(1) 幸区の魅力について

【魅力発信の目的】

- ・ 最終的な目的は幸区に住み続けてもらうことにより まちの活性化につなげる

【魅力発信のターゲット】

- ・ 30、40歳代の子育て世代を中心とする（30、40歳代にPRすることにより親世代にも広がる）

【地域資源・魅力について】

- ・ ①子育て環境、②子育て支援、③文化・商業の3点が充実していることを幸区の魅力として整理した。⇒【別紙資料】

19

(2) 幸区の魅力や受け取りやすい発信方法についての調査の実施

- ・ 幸区民祭にて、来場者にヒアリングを行った。

【日時】 平成29年10月7日（土）10時～16時

【場所】 幸区民祭（幸区役所内）

◆ 主な対象：区民祭に親子づれで来ている人

◆ 調査実施人数：88人



20

ちょう さ けつ か

(3) - 1 調査結果

① さいわいく みりよく
幸区の魅力について

こそだ かんきょう
<子育て環境>

キーワード	意見の数
ゆめ み が さきどうぶつ こう えん 夢見ヶ崎動物公園	34
みなみがわら こう えん 南河原公園	6
み ゆきこう えん 御幸公園	2
その他公園(が充実)	8
ごうばい 合計	50

こそだ し えん
<子育て支援>

キーワード	意見の数
こそだ し えん センター 子育て支援センター	5
ぶん か センター こども文化センター・わく わくプラザ	5
こどもたちが参加できる イベント	1
ごうばい 合計	11

ちょう さ けつ か

(3) - 2 調査結果

① さいわいく みりよく
幸区の魅力について

ぶんか しょうぎょう
<文化・商業>

キーワード	意見の数
み ゆ - ザ かわ さき ミュージア川崎	9
かわ さき まき に し ぐち いったい 川崎駅西口(一帯の施設 含む)	9
ら ぞう - な かわ さき ラゾーナ川崎	4
か し ま だ えき しゅう へん 鹿島田駅周辺	2
とう し ば み ら い か がく かん 東芝未来科学館	1
こう づう の べん が よい 交通の便が良い	1
ごうばい 合計	28

た
<その他>

キーワード	意見の数
ぼう ぼん どりく み ち い き こ み ゅ に 防犯の取組・地域コミュニ ティ	3
く やく しょ 区役所	2
と しょ かん す ぽー つ センター とう 図書館・スポーツセンター等 の施設	2
へい だん な ち ち 平坦な土地	2
く む ん さい 区民祭	1
どう ち ろ 道路がきれい	1
ち あん よい 治安が良い	1
ごうばい 合計	12

(3) - 3 ちょうさ けっか
調査結果

② うけとり やすい ほうしん ほうほう
受け取りやすい発信方法について

	キーワード	意見の数
電子媒体	SNS	25
	ホームページ	23
	合計	48
紙媒体	チラシ	28
	広報紙(市政だより含む)	20
	新聞	7
	地域情報誌(冊子)	5
	ポスター	3
	合計	63
その他	口コミ	8

(3) - 4 ちょうさ けっか
調査結果

③ かみばいたい ほうしん さい う と ほうしん ばしょ
紙媒体で発信する際に受け取りやすい発信場所について

キーワード	意見の数
民間商業施設(スーパー、コンビニ など)	68
公共施設(区役所、市民館、図書館、社協等)	20
幼稚園、保育園、学校	10
駅および駅周辺	9
子育て支援センター・子ども文化センター	7
子育てサークル・子育てサロン	6
ポスティング	5

じ れい ちょう さ
(4) 事例の調査



「ぐるっとみやまえ」

みやまえく はつ こう
(宮前区発行)

- しゅ ざい き かく へんしゅう く じん こう せい だん たい
・取材、企画、編集は区民で構成された団体「みや
まえ情報ラボ」が実施
じょう ほうら ぼ じっし
・区民の目線で、区の魅力や、お祭りや市民活動、
コンテンツごとの情報誌を紹介する内容

ちょう さ けつ か ふ はつ しん ほう ほう けん どう
(5) - 1 調査結果を踏まえた発信方法の検討

み りょく はつ しん ばい たい
【魅力発信の媒体について】

おも い けん
〈主な意見〉

- ・発信方法については、冊子などの紙媒体とSNSなどの電子媒体両方を活用するべきと考える。
- ・メインとなる魅力発信の冊子等を紙で作成し、それをSNSで拡散したり、補足するのがよいのではないか。
- ・（発信をする際に）現状の幸区の3つの魅力に限定してしまうより、もう少し読んで楽しく、実際に現地に行きたくくなるような形にした方がよいのではないか。

(5) - 2 ちょうさ けつ か ふ はっ しん ほう ほう けん とう 調査結果を踏まえた発信方法の検討

【魅力発信の主体について】

おも い けん <主な意見>

- ・ はっ しん にあたっては、きょう とう だい じ
発信にあたっては、協働が大事である。
- ・ さいわい く こう ほう して くれる ひと、「ぶん か かつ とう して いる ひと」、「こ そだ
「幸区を広報してくれる人」、「文化活動をしている人」、「子育て
かん けい の ひと」、「ます こ み かん けい たう ん し」、「しょう ぎょう し せつ
関係の人」、「マスコミ関係（タウン誌）」、「商業施設」にも協
りょく して もらい、はっ しん しゅたい の そしき
力してもらい、発信主体の組織をつくるのがよいのではないか。
- ・ ゆう し あつ み りょく つね こう しん じょう ほう はっ しん けい ぞく てき そ
有志を集めて魅力を常に更新して、情報を発信していく。継続的な組
しき 織をつくる必要があるのではないか。

4 ていげん ない よう けん とう ていげん ない よう こうせい い め じ 提言内容の検討【提言内容の構成イメージ】

【審議テーマ選定の際に出た主な意見】

- ・ 重要なのは様々な地域の魅力を発信していくこと
- ・ 「どの分野を発信」と限定して考える事ではない

【目的】

最終的な目的は幸区に住み続けてもらうことにより
まちの活性化につなげる

【ターゲット】

30、40歳代の子育て世代を中心

【地域資源・魅力】

充実した「①子育て環境、②子育て支援、③文化と商業」

【魅力発信の媒体】

- ・ 紙媒体と電子媒体の両方を活用
- ・ 現状の3つの魅力に限定せず、読んで楽しく、現地
に行きたくなるような形にした方がよいのではないか

【魅力発信の主体】

- ・ 発信にあたっては、協働が大事である
- ・ 有志を集めて魅力を常に更新して、情報を発信して
いく。継続的な組織をつくる必要がある

はっ しん み りょく
発信する魅力について

おも はっ しん ほう ほう
主に発信方法について

おも はっ しん しゅたい
主に発信主体について

魅力発信の目的と幸区の魅力について

◆提言1◆

まちの活性化につなげるため、幸区に愛着を持ち、住み続けてもらうために、30、40歳代の子育て世代を中心に「充実した『子育て環境、子育て支援、文化・商業』が身近にある最幸のまち・幸」という魅力を伝えるよう発信することを提案します。

<子育て環境>



夢見ヶ崎公園のレッサーパンダ

- ・夢見ヶ崎公園、南河原公園、御幸公園といった公園や子どもに人気の遊び場なども充実
- ・市民と行政の協働による遊び場の提供

<子育て支援>



おでかけぼかぼか

- ・地域で子育てを助け合う風潮
- ・地域子育て支援センターや子ども文化センターなどにおける子育て支援体制の充実

<文化・商業>



ミュージア川崎

- ・ミュージア川崎や、東芝未来科学館など、身近に一流の文化や先端的な科学にふれられる場が立地
- ・大型商業施設や川崎駅等、生活利便性の高さ

魅力の効果的な発信方法について

◆提言2◆

ターゲットに伝わるように様々な媒体を使った、地域目線での魅力発信を行うことを提案します。

<趣旨>

- ・魅力を効果的に伝えるためには、ターゲットの目線に立ち、魅力発信の媒体、魅力発信の主体、発信するコンテンツなど、様々な工夫をする必要がある
- ・発信の媒体については、広報紙、情報誌・チラシ等の紙媒体による発信とSNSやHP等の電子媒体による発信をうまく関係させながら発信するべき
- ・発信する場所、方法の工夫を図ることで、発信した情報がより受け取りやすくなる



紙媒体と電子媒体両方の活用



発信する場所の工夫

魅力を発信する担い手について

◆提言3◆

地域住民が中心となり、行政と協働し、魅力発信を
 継続的に行える発信主体を形成することを提案します。

<趣旨>

区内には市民活動として区の魅力を広報している人や
 文化活動をしている人、子育て支援活動を行っている人
 など、豊富な人材があり、このような人たちから有志を
 募って発信主体を形成
 ・地域住民が中心となった発信主体によって、行政と協
 働して継続的に区の豊富な魅力を発信していくことにより、
 区に愛着を持ってもらうことができ、まちの活性化にもつ
 ながっていく



地域住民が中心となった発信主体
 による行政との協働による発信